

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月2日～3月8日)

2021年3月12日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、露ベラルーシ軍事協力に関する会議に出席。(3/2)
- コレスニコヴァ氏(ババリコ氏陣営代表)、米国国務省から国際勇気ある女性賞を受賞。(3/5)
- 国際オリンピック委員会、ヴィクトル・ルカシェンコ氏をベラルーシ国内五輪委員会会長として承認せず。(3/8)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

### ●露ベラルーシ軍事協力に関する会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ソチにおけるプーチン露大統領との会談の後、我々は、多くの問題は、国防大臣を始めとする力の省庁の代表や政府代表のレベルにおいて解決すると合意した。
- ・露大統領との会談において、連合国家の形式における協力、軍事技術相互協力、外部からのものを含む様々な挑戦に対する対抗について議論した。他方、ロシアによるベラルーシへの融資に関しては協議されなかった。もともと議題になかったのである。同様に政権移行についても協議されなかった。つまり、会談の議題は、連合国家の枠組みに限定されていた。
- ・ベラルーシ国民は、巨大なロシアと比較して小さいが、自身のアパートに住んでいる。我々は主権のある独立国家である。世界は大きく変わった。ベラルーシがロシアの一部となる、ロシアがベラルーシの一部となる、両国が合体する等、その方向性に進むのは愚かである。そして、それは必要ない。
- ・また、露大統領との会談において統合に向けたロードマップについて協議された。多くのロードマップには問題がなく、今すぐにも署名可能である。しかしいくつかの方向では、改善点がある。例えば、租税制度の近似化について、両国で疑念が湧かないようにすべきである。プーチン露大統領は、約1か月後、ロシアの提案を報告するためミシュスチン露首相を派遣する用意があると述べた。
- ・露ベラルーシの国防省及び外務省は他の国家機関にとって協力の模範例である。我々は国防政策と外

交政策を焦眉の課題として調和させていく必要がある。我々は連合国家において非の打ち所がない連携を作り出す決意に満ちている。制裁を恐れる必要のない関係を作りたい。

・ロシアからの融資について、多くのメディアで書かれているが、議論されていない。かつてオストロヴェツ原発建設を検討していた頃、プーチン大統領に融資の話を持ち出し、仮に我々が節約出来たら、その分を軍事等の他の分野のベラルーシ向け融資に残すことができる」と述べた。そして、確かに節約することができた。その結果、この融資の話がメディアにて再燃したのであろう。我々は残りの融資を軍事上の必要性に使用する予定である。ソチの会談において財務分野で協議された唯一のテーマは、グロドノ窒素工場の改修におけるガスプロム社の参画についてのみである。

(3/2 大統領公式ホームページ)

### ●二輪車製造工場「Motobelo」を視察

(3/5 大統領公式ホームページ)

### ●エフセフ大統領補佐官兼ミンスク州検査官、解任

(3/5 大統領公式ホームページ)

## 【外交】

●ジューク駐ベラルーシ米臨時代理大使、ベラルーシ政権が同国祈りの家から退去させたキリスト教福音派「新たな人生」教会の代表と会談し、信教の自由に対する支持と政権に対する懸念を表明。

(3/4 ベラパン通信)

●カランケヴィチ・ベラルーシ・エネルギー大臣、シュ  
ーリギン露エネルギー大臣とモスクワで会談し、資源  
分野の二国間協力について協議。

(3/4 ベラパン通信)

●フレニン・ベラルーシ国防大臣、ショイグ露国防大  
臣とモスクワで会談し、ベラルーシ・グロドノ州におけ  
る共同訓練センターの設立を合意。

(3/5 ベラパン通信)

●カランケヴィチ・ベラルーシ・エネルギー大臣、セマ  
シュコ駐露ベラルーシ大使、ミレル・ガスプロム会長  
と会談し、ガス分野の協力について協議。

(3/6 ベラパン通信)

●国際オリンピック委員会、ヴィクトル・ルカシェンコ  
氏をベラルーシ国内五輪委員会会長として承認せず。

(3/8 ベラパン通信)

#### 【経済】

●1月、ミンスク市貿易高、昨年同月対比1.5%増  
加の15億2千万ドル。

(3/2 ベラパン通信)

●2月20日以降、稼働停止していたオストロヴェツ  
原発第一エネルギーブロック、再稼働。

(3/8 ベラパン通信)

#### 【内政】

●保健省、新型コロナウイルス向けワクチンの大規  
模接種は4月以降に実施と発表。

(3/2 ベラパン通信)

●労働省、2020年の失業率は4%と発表。

(3/7 ベラパン通信)

●カザケーヴィチ内務次官、2020年8月以降、250  
0件以上の抗議運動に関連した刑事事件が立件され  
たと発表。

(3/8 ベラパン通信)

#### 【抗議の動き】

●チハノフスカヤ元候補、フィンランドを訪問し、ニー  
ニスト同国大統領、マリン首相及びハーヴィスト外相  
と会談。

(3/1~4 ベラパン通信)

●ByPOL(注:退職した元治安部隊員による反政府  
系組織)が、自身の Youtube チャンネルに、カラエフ  
前内務大臣の声に酷似した音声データを公表。

本音声データは、同大臣が内務省組織犯罪・汚職対  
策総局において送別の言葉を述べた際に記録された  
ものと推測されている。

(3/4 ベラパン通信)

●コレスニコヴァ氏(ババリコ氏陣営代表)、米国国  
務省から国際勇気ある女性賞を受賞。

(3/5 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ポルトガルを訪問し、コスタ  
同国首相、サントス・シルヴァ外務大臣と会談。

(3/6 ベラパン通信)

(了)